

船舶事故等調査報告書

平成23年11月24日
運輸安全委員会（海事専門部会）議決

事故等番号	2010神第253号	
事故等種類	漁網損傷	
発生日時	平成22年10月7日（木） 18時13分ごろ	
発生場所	兵庫県神戸市神戸空港南東方沖 神戸空港東進入灯施設灯から真方位147° 2.7海里付近 （概位 北緯34° 35.8′ 東経135° 16.3′）	
事故等調査の経過	平成22年12月13日、本事故の調査を担当する主管調査官（神戸事務所）を指名した。 原因関係者から意見聴取を行った。	
事実情報 船種船名、総トン数等 船舶番号、船舶所有者等	A 旅客フェリー やまと、13,353トン 135997、阪九フェリー株式会社 B 漁船 金照丸、トン数不詳 不明、個人所有 C 漁船 第八金照丸、トン数不詳 不明、個人所有	
乗組員等に関する情報	A 船長A、二級海技士（航海） B 船長B、免状不詳 C 船長C、免状不詳	
死傷者等	なし	
損傷	A なし B 漁網2反切断 C 漁網1反切断	
事故等の経過	A船は、船長Aほか23人が乗り組み、旅客138人及び車両270台を乗せ、船首約6.88m、船尾約7.00mの喫水で大阪湾を北進中、右舷方から接近する自動車運搬船を避航するため、左転してB船及びC船が操業中のさわら流し網の上を通過し、同網を切断した。	
気象・海象	気象：天気 晴れ、風向 南西、風力 2、視界 良好	
その他の事項	船長Aは、漁船の灯火及びさわら流し網の標識灯を認めて同網を避けながら北進中、右舷方から西進中の自動車運搬船が接近したことから、異常接近を避けるため、流し網の回避を断念して左転した。 B船及びC船は、それぞれ長さ約3,000mのさわら流し網をほぼ南北方向に入れ、網の北端に赤色の標識灯、南端に緑色の標識灯及びその中間に約500m間隔で黄色の標識灯を表示していた。	
分析	乗組員等の関与 船体・機関等の関与 気象・海象の関与 判明した事項の解析	A あり B なし C なし なし なし A船は、神戸空港南東方沖を北進中、右舷方から接近する自動車運搬船を避けようとして左転したことから、B船及びC船のさわら流し網に向けて航行し、同網を切断したものと考えられる。

原因	本事故は、夜間、A船が、神戸空港南東方沖を北進中、右舷方から接近する自動車運搬船を避けようとして左転したため、B船及びC船のさわら流し網に向けて航行したことにより発生したものと考えられる。
----	--